

所蔵作品展

琳派・若冲と花鳥風月

Beauties of Nature
— Rimpa, Jakuchu and
Japanese Painting

8.27 | 火 | ▶ 9.23 | 月・祝 |

開館時間 日～木曜日 10:00～18:00 [金・土曜日は20:00まで]
* 入場受付は閉館の30分前まで

休館日 9月2日(第一月曜日)

観覧料 200円(160円) / 大学生160円(120円)

* 小・中・高校生、千葉県在住65歳以上の方、
および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
*()内は、団体30名様以上の料金

鈴木其一《芒野図屏風》(部分) 天保後期～嘉永期(1830-54) 千葉市美術館蔵
伊藤若冲《旭日松鶴図》(部分) 宝暦5-6年(1755-56)頃 (公財) 滝水軒記念文化振興財団蔵(千葉市美術館寄託)
中村芳中『光琳画譜』(部分) 享和2年(1802)刊 千葉市美術館蔵 ラヴィッツ・コレクション

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

花鳥風月—自然の美しさとそれをめぐる文化

花鳥風月とは自然の美しさであり、美しい自然を愛する文化です。古くから美術は花鳥風月をかたちに表してきました。「花鳥」の花は植物全般、鳥は動物全般を代表し、生命を象徴するものです。唐時代の中国で成立した花鳥画は日本の四季の中で育まれ、近世日本絵画で大きく花開きました。日本美術の装飾性をよく表す琳派や伊藤若冲は花鳥画に多くの優品を残しています。「花鳥」に対して「風月」は天候、自然現象といえます。山水に象徴される宇宙の中に花鳥風月はあり、人の営みもありました。

本展覧会は「四季」「花」「鳥」「風月」「山水」「人物」「琳派の版本」の七章構成で、千葉市美術館のコレクションから江戸時代の日本絵画を中心に花鳥風月を題材とした123点を展示します。



1



2



3



4



5



6



7

1. 鈴木其一《芒野図屏風》天保後期～嘉永期(1830-54)
2. 岡本秋暉《若冲写鶴図》江戸時代後期(公財)橋水軒記念文化振興財団蔵
3. 伊藤若冲《旭日松鶴図》宝暦5-6年(1755-56)頃(公財)橋水軒記念文化振興財団蔵
4. 河田小龍《花鳥図》より 幕末～明治時代
5. 酒井抱一《乾山写花籠図》文政6年(1823) 個人蔵
6. 神坂雪佳『百々世草』より 明治42-43年(1909-10)刊 ラヴィッツ・コレクション
7. 柴田是真《貝図》明治10年代(1877-86)
すべて千葉市美術館蔵、または寄託

所蔵作品展 琳派・若冲と花鳥風月

Beauties of Nature — Rimpa, Jakuchu and Japanese Painting

関連イベント

市民美術講座「日本絵画の花鳥風月」
【講師】伊藤紫織(当館学芸員)
9月7日(土)14:00より(13:30開場)
11階講堂にて/先着150名/聴講無料

ギャラリートーク

担当学芸員による:8月28日(水)14:00より
ボランティアスタッフによる:会期中の毎週水曜日(8月28日を除く)
*水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。

交通案内

- JR千葉駅東口より
徒歩約15分、またはバスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩3分/千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩5分
- 京成千葉中央駅東口より
徒歩約10分
- 東京方面から車で
京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
*千葉市中央区役所と同じ建物です。
*地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください。



次回展予告

ジョルジュ・ルオー展 10月1日(火)～11月17日(日)

同時開催 所蔵作品展 祈りと美術

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel.043-221-2311(代) <http://www.ccma-net.jp>

※都合により展示作品を変更する場合があります